

「やいまびとう人材ネットワーク事業」について

【やいまびとう大会】

2013年3月7日に、郡民待望の「新石垣空港」が開港しました。それに合わせて、3月8日から10日までの3日間、「2013 全国のやいまびとう大会」が開催されました。

これは全国各地で活躍する「やいまびとう」が、郷土との連携あるいは全国的なネットワーク同士の充実強化を図りながら、郷土愛を育み、郷土出身者の英知と力を活用し活気ある新しい八重山の創造を目指すものです。

その大会の中でシンポジウム「八重山の振興と発展一人づくり、まちづくり」が行われ、また三木氏による基調講演「八重山ネットワークの構築」がありました。

それを受けて、「2013 全国のやいまびとう大会」で継承発展できた全国的なネットワークを今後どのようにいかすかを目的に、旧盆時の8月20日に、東京八重山郷友連合会長はじめ、近畿、在沖郷友会会長や地元2首長、各種団体の長による「全国のやいまびとう座談会—広げよう つなげよう 活かそう やいまネットワーク—」が開催されました。

※「やいまびとう」は「八重山の人」という意。石垣市、竹富町、与那国町で構成する八重山郡の出身者。

【八重山はひとつ】

八重山地域では圏域全体の人口は増えているものの竹富町や与那国町は減少し、圏域内での一極集中と過疎化が進んでいます。

今後の八重山振興を考える場合、個々の行政区だけでなく、八重山全域でひとつの圏域としてどうすればいいかの視点で見ていく必要があります。

【課題】

「八重山の振興と発展一人づくり、まちづくり」や「全国のやいまびとう座談会—広げよう つなげよう 活かそう やいまネットワーク—」からの課題は、この「やいまネットワークを今後どのように発展拡充しながら、全国にいる『やいまびとう』を財産として、八重山圏域および郷友相互との活性化につなげていくか」ということです。

【一括交付金の活用】

2012年4月に沖縄振興特別交付金（一括交付金）制度が創設されました。これは沖縄の振興に資する事業、いわゆる沖縄の特殊性に起因する事業の実施に県が市町村にその事業経費を交付するものです。

八重山地域は日本最南西端に位置し、国土・海域の保全など重要な役割を担っていますが、一方で圏域内での一極集中と過疎化が進んでいます。同時に沖縄本島との格差も離島ならではの遠隔性、散在性、狭小性等の条件不利性に由来します。

「やいまびとう人材ネットワーク事業」でネットワークを構築し、これを効果的に活用することにより、離島の持つ活力の維持・向上に向けて、農商工連携、島間連携、観光リゾート産業、農林水産業、食品加工業、特産品開発、多様な人材の育成など、八重山圏域の活性化の方向へ推進することができ、離島の条件不利性を多少なりとも解消できるものと考えます。

【やいまびとう人材ネットワーク事業】

事業概要

日本全国には、八重山出身者が多数いて、各地区では郷友会などを組織して、会員相互の親睦・共栄や故郷八重山の発展に寄与することを会則の目的としています。他にも高校ごとの同窓会や同期会があったり、三味線や踊りなどの芸能仲間であったりします。

それらのネットワーク化に向けての基本的な考えと推進計画作成、それを受けての全国の各ブロックごとの八重山出身者の掘り起こしと郷友会の組織化作業やそれらを結びつける人材情報ネットワークシステムづくりを実施します。

事業の必要性

八重山広域市町村圏事務組合では「八重山はひとつ」の理念で諸事業を展開しています。これからの八重山の振興発展を考える時、内部の力だけでなく、郡外のネットワークを有効に活用したい。「内の目」と「外の目」の融合から「新たな八重山の活性化」を図りたい。具体的には、全国にいる八重山出身者を財産としてとらえ、そのやいまびとうを掘り起こし、やいまびとうネットワークを拡充強化することにより

- ・外部からの故郷八重山振興発展への適切な助言、提言等を求める
- ・同ネットワークで八重山圏域をPRすることにより、観光入域者数の増、特産品の宣伝販売、文化交流、人材交流を通しての人材育成など、多方面での効果をねらう

ことで、八重山圏域全体の活性化につなげるものです。

事業内容の詳細

同事業の内容は次の3つから構成されています。

I やいまびとう人材ネットワーク構築基本構想（委託事業 350 万円）

全体的な事業である「やいまびとう人材ネットワーク事業」の基本的な考えと位置づけるもので、あわせてⅡの「やいまびとう人材情報ネットワークシステム構築」のあり方も検討し、実効性のあるシステム構築につなげます。

アンテナショップ「やいま物産館（仮称）」の可能性調査も行います。

また、今後のやいまびとう人材ネットワークのあり方やその可能性なども検討します。

主な調査項目

現況の整理

- (1) 各市町村の行政計画の確認（人的ネットワークづくりに関する）
- (2) 八重山出身者等の社会的ネットワーク資源の整理・分析
- (3) 全国の参考事例の整理

提案の整理

- (1) 「2013 全国のやいまびとう大会及び座談会」の提案整理
- (2) 圏域郡民意見募集の整理
- (3) 各種会議（策定委員会、審議会）提案の整理
- (4) やいまびとう人材情報ネットワークシステムに関するヒヤリング

構想の作成

- (1) やいまびとう人材ネットワーク方針の検討
- (2) やいまびとう人材ネットワーク事業の具体化・重点事業の検討
- (3) やいま物産館（仮称）の可能性調査
- (4) スケジュールの検討
- (5) 事業手法・実施体制の検討

Ⅱ 郷友リサーチとネットワーク化及びやいまびとう人材情報ネットワークシステム構築（委託事業 350 万円）

内容は次のア、イ、ウの3つから成っています。

ア．郷友のリサーチ

- ・ 全国にいる八重山出身者をリサーチします

ネットでのリサーチ

各郷友会／同窓会／同期会／八重山料理店／八重山民謡研究所／
八重山舞踊研究所／八重山出身アーティスト等／経営者／大学教授等
新聞や情報誌等でのリサーチ

各郷友会／同窓会／同期会／八重山料理店／八重山民謡研究所／

八重山舞踊研究所／八重山出身アーティスト等／経営者／大学教授等

- ・ 名簿の収集

3 高校卒業生、郷友会、同窓会(尚志会／みずほ会／津梁会)、同期会

イ. 郷友ネットワーク化

ア. でリサーチした郷友の組織化（郷友会等）をすすめます
郷友会の組織化（郷友会、同窓会、同期会、サークルなど）
北海道／東北／関東／近畿／中国／四国／九州

ウ. やいまびとう人材情報ネットワークシステムの構築

例えば、八重山広域事務組合内の HP を使って、全国の郷友ネットワークとの橋渡しができないか。そこに来れば、八重山や八重山出身者の動きがわかる場。具体的には、

- ・ 八重山出身者の各団体の交流の場
地元行政も含めた各種団体や個人の方々が自由に情報を発信し交流できる場
- ・ 各団体のリンク（郷友会、八重山出身者に係わる各種団体、料理店や居酒屋、民謡や舞踊研究所、企業、個人、ミュージシャン等々）一覧
全国のどこにどういう団体や個人がいて、どんな活動しているなどを構築する。
- ・ あわせて各分野の専門家や技能者や有資格者、つまり大学教授、医者、弁護士、ミュージシャン、アーティストなどの登録も行います。
それが人材情報ネットワーク及び人材バンクになると考えます。

Ⅲ 事務局の業務（270 万円）

上記Ⅰ「やいまびとう人材ネットワーク構築基本構想」Ⅱ「郷友リサーチと郷友ネットワーク化及びやいまびとう人材情報ネットワークシステム構築」の委託事業を進めながら、委託業者と連携して全国各地へ赴き郷友の組織化（郷友会等）をすすめます。

【ネットワーク事業展開の見通し】

「やいまびとう人材ネットワーク事業」は八重山圏域の活性化を目的として行うものですが、この「ネットワーク構築」はいわば道路や港湾、空港、施設などのインフラ整備と同じで、この構築されたネットワークの拡充強化と効果的な活用が重要だと考えます。

ネットワークの活用としては次のことを行います。

1) 八重山圏域振興発展への適切な助言提言

八重山の振興発展に関する諸課題については内部の視点だけではなく、郡

外の視点も重要だと考えます。内部の目だけだと気づかないことも、外部の目だと気づく場合もあります。内部と外部との融合から新たな視点・発想も得られます。当事業では「やいまびとう人材情報ネットワークシステム構築」を行い、郡外の多くの方や有識者などから、八重山圏域の諸課題について積極的な助言・提言をいただきます。

2) 観光入域者数の増

全国のやいまびとうは相当数いると思われれます。その方たちに八重山 PR 大使的な働きをしていただき、周りの方たちに八重山の良さを話して貰うロコミだけでも確実な宣伝になります。

また、やいまびとうの家族はじめその子や孫、姻戚者や関係者の方々、八重山大好き人間など、定期的な帰省や「トゥバラーマ大会」「トライスロン大会」「マラソン大会」「やいまびとう大会」などイベントに合わせて八重山に来ていただけるようネットワークを通じて情報発信をします。

3) 「全国のやいまびとう交流の場（人材情報ネットワークシステム）」の活用

全国で開催する八重山 PR イベント交流事業や特産品の宣伝・販売などの事業を、事前に HP 上の「交流の場」で発信することで、多くの方々に周知できます。また、それに対する反応なども知ることができます。

郡内、郡外のお互いの近況やイベント情報などを受発信し共有することで、八重山圏域への持続的な興味・関心を持っていただきます。同時にそのことがネットワークの強化にもつながります。

4) 文化交流

地元で開催している「文化発表会」へ、郡外のやいまびとうの参加を呼びかけます。絵画、書道、写真、音楽、郷土芸能、民謡大会などへの参加から、お互いの刺激になり技術の向上や人的交流も深められ、新たな八重山文化の創造も期待できます。

5) 人材交流

地元の子供たちとやいまびとうの子供たちとの交流、あるいは郡外で全国的に活躍している方々との交流をとおして、将来、地元に必要な人材の育成につなげます。

6) やいま物産館の可能性

八重山版アンテナショップで、八重山の特産品の販売や観光 PR なども行います。そこでは販売、観光 PR だけではなく、八重山民謡ライブ居酒屋を併設

して、八重山の美味しいものを食べながら、八重山の音楽が楽しめます。あわせて、民謡教室や舞踊教室など丸ごと八重山が詰まっている場所にします。そこをやいまびとうや八重山大好き人間の拠点にします。そのような「やいま物産館」の可能性を探ります。